

# 奥多摩町まちづくり推進事業

令和5年度採択事業のご紹介と令和4年度実施事業についてのご報告

まちづくり推進事業とは、住民みなさんや地域が主体となり、まち（地域）、ひと（人材）の魅力を生かし、地域コミュニティの活性化につながる新たな事業を企画立案し実行することに対して町が支援する制度です。

報告：奥多摩町まちづくり委員会

## 令和5年度 採択事業

今年度、申請をいただいた事業の中から、まちづくり委員会の審査を経て、以下の2つの事業が採択されましたので、住民のみなさんにご紹介いたします。

### アートでトモダチ計画 2023

文化芸術活動、表現活動を通して普段接することがない年代・個性・職業の人と友達になること、奥多摩ならではの表現の場を町内外の多くの人に知ってもらうこと、子どもたちと共有できる表現活動の場をつくることなどを目的として、芸術鑑賞、演劇体験、創作劇体験を行う事業です。（2年目の採択となります）

- 申請者／黒木 絵麻
- 実施予定内容  
8月下旬／パントマイムショー&ワークショップ  
12月中旬／クリスマスミニ公演  
3月上旬／古民家でお芝居



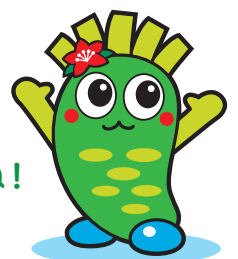
### 奥多摩DIY教室「モリとヒトの新しい拠点づくり」

奥多摩にすでにある資源（環境やモノやヒト）を活かし、新たな魅力ある価値へとつなげる活動を実践しながら学ぶことを目的とした事業。「梅澤の森づくり」と「海澤の古民家再生」をつなげることで、これからの本格的な活動拠点としていくことを目指し、その創る過程を参加者とともに体験していくDIY（Do Innovation Yourself）としたワークショップで町民や都心の人たちをつなげていきます。

- 申請者／丸谷建築研究所 丸谷 晴道
- 実施予定内容  
7月～10月／体験ワークショップ（丸太の皮むき、チェーンソー挽き、焼杉、森の道づくり体験）  
11月～3月／リノベーション・スクール（古民家づくり）



裏面も見てね！



## 令和4年度 事業報告

以下の3つの事業は昨年度に採択され実施された、まちづくり推進事業です。

### 新しい奥多摩のお土産を作る！「オクタマ・トリ・カルタ」の開発

町内のクリエイターが関わり制作された紙のカードと専用アプリを使用し、アプリからランダムに再生される鳥の鳴き声を聞いて、対応する鳥の姿・名前を当てるカルタのようなカードゲームの開発。完成後は町内の保育園、小中学校へサンプルを寄付しました。

なお、今年度の7月13日(木)から奥多摩観光協会(奥多摩駅前観光案内所)のほか、飲食店など町内各所で販売を開始しています。

- 申請者 / 新しい奥多摩のお土産を作る！  
「オクタマ・トリ・カルタ」制作委員会 後藤 めぐみ
- 交付額 / 1,000,000円



### アートでトモダチ計画

舞台芸術鑑賞を通し、障害者や難病者、高齢者とふれあい、支え合う心をはぐくむことを目的とした事業で、舞台芸術鑑賞体験(コンサート・演劇など)全4回実施。参加延べ人数、256人。



- ①ルリビタキ音楽隊コンサート「歌の翼にのせて」...盲導犬を連れたソプラノ歌手と作曲家のユニットコンサートを文化会館にて実施
- ②インクルーシブシアター「奥多摩のむかし話」...東京多摩学園の園生、職員を中心に公募で集まった町民の出演で奥多摩の民話劇を鑑賞
- ③高齢者劇団かんじゅく座公演...都心の高齢者劇団の出前公演を鑑賞
- ④古民家公演「注文の多い古民家食堂」...海澤の古民家を舞台にした演劇の創作と鑑賞

- 申請者 / 黒木 絵麻
- 交付額 / 213,000円



### 香りの道セラピーロードにヤマユリと節黒センノウを復元

毎年訪れる観光客の思い出と町の振興の一助になればと、かつて地域に咲いていたヤマユリと東京都絶滅危惧種「フシグロセンノウ」の復元を図る事業。復元は成功し、場所はセラピーロード「香りの道・登計トレイル」入口から散策道の林の中にあり、毎年7月頃から10月頃までの間、可憐な花を見ることができます。

- 申請者 / 登計の里クラブ
- 交付額 / 92,000円



奥多摩町まちづくり委員会では、現在、観光マナーアップ啓発事業に取り組んでいます。この事業では、河川敷でのBBQごみの放置・直火、河川・山岳事故など観光に関する問題に対して、奥多摩町が国立公園内であることを認識してもらい、マナーアップに理解・協力を得ることを目的とした啓発物(ポスター・ステッカー・看板)を作成しました。ステッカーの配布箇所、ポスターのダウンロードの詳細は右記の二次元コードより町ホームページにてご確認ください。

